

令和8年度第1回 蓮田市行政改革推進委員会会議録

招 集 日	令和8年8月18日（火）	
開催場所	蓮田市役所 201会議室	
開催日時	開会 令和8年8月18日（火）午後1時20分 閉会 令和8年8月18日（火）午後2時40分	
出席状況 （委員）	委 員 長 中 野 君 男	出席 ・ 欠席
	副委員長 木 村 利 男	出席 ・ 欠席
	委 員 一之瀬 市 子	出席 ・ 欠席
	委 員 大 山 友 康	出席 ・ 欠席
	委 員 佐 藤 茂 男	出席 ・ 欠席
	委 員 豊 嶋 遥	出席 ・ 欠席
	委 員 中 田 むつみ	出席 ・ 欠席
	委 員 野 本 和 貴	出席 ・ 欠席
	委 員 秦 邦 雄	出席 ・ 欠席
	委 員 山 田 正 恵	出席 ・ 欠席
出席職員 （本部委員、 事務局）	【蓮田市行政改革推進本部】 蓮 田 市 長 山口 京子 副 市 長 加藤 繁 教 育 長 西山 通夫 総 合 政 策 部 長 馬場 邦明 総 務 部 長 小林 考一 環 境 経 済 部 長 初野 尚久 健 康 福 祉 部 長 森上 和代 都 市 整 備 部 長 高橋 宏治 上 下 水 道 部 長 中田 俊之 会 計 管 理 者 柴田 賢次 消 防 長 小野寺 潤 学 校 教 育 部 長 松本 直大 生 涯 学 習 部 長 清野 哲	議 会 事 務 局 長 遠藤 忠則 監 査 委 員 事 務 局 長 松永 恭武 都 市 整 備 部 参 事 兼 道 路 課 長 門井 政治 【事務局】 政 策 調 整 課 長 細田 昇 政 策 調 整 課 副 主 幹 木村 幸歩 政 策 調 整 課 主 事 大熊 一輝 政 策 調 整 課 主 事 田嶋 諒大
傍 聴 者	なし	
1 開会	開会宣言	
2 委嘱式	《山口市長より、委嘱書の交付》	

(政策調整課副主幹)

ただ今、事務局案の説明がございましたが、これについて何かご意見やご質問等はございますか。

(佐藤委員)

委員長は中野委員が前回就任いただいております、実績があるのでよいと思いますが、副委員長は秦委員を推薦したいと思います。

(秦委員)

先ほど委嘱いただいたところですが、議員の任期があと1年となります。継続できるかまだ分かりませんので、ご推薦いただきありがたいですが、辞退させていただこうと思います。

(佐藤委員)

分かりました。そのようなことでしたら、私は事務局の案でよいと思います。

(政策調整課副主幹)

そのほかにご意見等が無いようでしたら、事務局案でございます、委員長を中野君男様に、副委員長を木村利男様にお願いすることにご異議ございませんか。

《異議なしの声》

それでは、当委員会の委員長を中野君男様、副委員長を木村利男様にお願いしたいと存じます。ご協力ありがとうございました。

ここで、席の移動と打合せの時間を取らせていただきますので、少々の休憩とさせていただきたいと存じます。

.....[休 憩].....

(政策調整課副主幹)

お待たせいたしました。議事を再開させていただきます。

再開に先立ちまして、中野委員長にご挨拶を頂戴したいと存じます。

《中野委員長より挨拶》

ありがとうございました。

蓮田市行政改革推進委員会条例第6条第1項には、「委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる」と規定されておりますので、これからの議事進行を中野委員長にお願いしたいと存じます。よろしくお願

・傍聴者の確認

いします。

《中野委員長より傍聴者の確認》

(傍聴者なし)

(2) 蓮田市
第8次行政
改革実施計
画の進行管
理について

(中野委員長)

議題(1)は終了しましたので、会議次第に従い、これから議題(2)「蓮田市第8次行政改革実施計画の進行管理について」事務局からの説明を求めます。

《事務局から資料2及び資料3について説明》

(中野委員長)

ありがとうございました。

ただいま、資料3に沿って、令和7年度の主な実施状況の説明がありました。20の事業があるわけですが、全体を通してご質問をお受けしたいと思います。

(秦委員)

5ページ目にも記載されておりますが、評価指標の横にある米印の内容について、指標を誰がどう考えて評価したのかが客観的に分からないです。評価の仕方についてもう少しご説明いただきたいです。

(政策調整課長)

事務を所管している各課にて評価を行っております。達成・未達成の判断につきまして、目標値があるものにつきましては目標値を目安に、ないものにつきましては、計画策定当初の令和7年度や昨年度と比較して評価しております。

(中野委員長)

基準となる客観的な指標はないという捉え方でよろしいでしょうか。また、推進本部ではどのように各指標の評価を検証したのですか。これらのことについて説明いただきたいです。

(政策調整課長)

まず、推進本部としてどのように評価しているかについてですが、本日の委員会に先立ち、8月3日に蓮田市行政改革推進本部会議を開きました。その際には、本日と同じ進行管理表について内容を確認いただいております。

また、評価基準につきましては、目標値や過去の年度からの推移を参考に、各所管課の方で評価しております。

(中野委員長)

秦委員の方で何かアドバイス等があれば、お願いいたします。

(秦委員)

アドバイスというほどではございませんが、担当課の評価が客観的にも分かるとよいと思います。委託等で、外部の方に評価いただくのは難しいとは思いますが、本部会議で横並びにみて評価をお願いしたいと思っています。

(政策調整課長)

来年度には次期計画の策定に向けて取り組む予定ですので、その際にいただいたご意見を参考に、分かりやすい評価について検討してまいりたいと思います。

(野本委員)

No. 8「収入確保策の推進」について、ふるさと納税の寄附受付金額が増えているとのことですが、同規模の自治体と比較した場合、蓮田市は多い方なのでしょうか。

(総合政策部長)

ふるさと納税制度の性質として、比較的人口が多い自治体では寄附による入りよりも出の方が多い傾向にあります。近隣自治体との比較は行っておりませんが、特産品や注目を集めるような商品等を開拓し、より多くの寄附金を募れるよう努力してまいりたいと考えております。

(豊嶋委員)

No. 3「行政手続オンライン化等の推進」について、デジタル推進課が所管する電子申請システムや、文化スポーツ課の公共施設予約システムにおける申請件数は進行管理されておりますが、昨年度4月から消防にて火災予防等のオンライン手続きを開始していたかと存じます。こちらについて評価は行わないのでしょうか。

(消防長)

火災予防等のオンライン手続きについては、デジタル推進課と協議の上、取り組んでおります。今後、進行管理表にも取り組みを記載してまいりたいと考えております。

(中野委員長)

評価について、加筆するということによろしいですか。

(総合政策部長)

評価指標を新たに追加するというよりも、「蓮田市DX推進計画」に基づいての取り組みになりますので、デジタル推進課の進行管理で記載項目を増やしてまいりたいと考えております。

(中田委員)

No. 10「手数料、使用料等の見直し」について、総合市民体育館パルシーにてサブアリーナが完成したことにより、財源が増えると思いますが、その使い道が見えるようにしていただきたいです。

(総合政策部長)

市の財政は多様な財源によって賄われております。市の財源をどのように使うかについては、予算書や決算書にてお示ししております。行政改革の項目としては挙げにくいところですが、そのようなかたちで分かるようにしております。

(秦委員)

No. 14「時間外勤務の抑制」について、仕事の持ち帰りをなくすための取り組みを教えてください。

(総務部長)

時間外勤務を抑制するため、出退勤システムを導入しておりますが、どうしてもという場合は、所属長との相談の上、残業することもできます。まずは課単位で管理し、職員が業務を抱え込まないように体調管理を行うとともに、職場の風通しをよくしてまいりたいと考えております。

(中野委員長)

自宅で仕事を持ち帰りするために、データを持ち出すこと等は規則で禁止されている認識でよろしいでしょうか。

(総務部長)

業務内容に個人情報等が含まれることもございますので、ご認識のとおりです。

(秦委員)

No. 20「人事評価システムの推進」について、今まではどんなに業務を頑張っても勤勉手当は同階級の職員で一律同額でした。これでは職員の

モチベーションが下がり、サービスを受ける市民にはね返ってくることになります。人事評価システムが導入され、令和8年度から人事評価に応じて、勤勉手当の金額が職員ごとに変ったかと思いますが、状況について教えてください。

(総務部長)

人事評価システムの運用は今年度から始まっておりますが、各職員の勤勉手当には、令和9年度以降に反映されることとなります。4月末には人事評価の適正な実施のため、勤務評定者研修を開き、管理職の方を中心に100名ほどが参加しました。

実際に人事評価を勤勉手当に反映させることは非常に難しいところと考えております。1年間お時間をいただいて、令和9年度の評価から反映したいと考えております。

(秦委員)

「蓮田市職員の給与に関する条例」にて、勤勉手当を人事評価の結果に応じて支給するよう改正し、令和8年4月1日に施行されているわけですから、令和9年度以降と言わず、早く取り組むべきです。

(中野委員長)

令和9年度には勤勉手当に反映されるということですので、着実に進めていただきたいです。

(山田委員)

No. 2「マイナンバーカードの利用促進」について、マイナンバーカードの交付率が100%であることはすごいことだと思います。

また、マイナンバーカード交付のため、人員を確保していただき、ありがたいと思いました。高齢者の皆さんが不得意なのは、マイナンバーカードの更新手続きです。私も何度か付き添いをしたことがあります、職員の方にサポートいただけるのであれば、心強いと思います。

そのほか、No. 12「光熱水費の削減」についてですが、公共施設にはクーリングシェルターとしての役割もあり、私の知り合いにも移動途中にパルシーで一休みし、涼んでいるという方がおります。節電・節水という観点もありますが、引き続き適正に温度管理を行っていただきたいと考えております。

(総務部長)

マイナンバーカードの交付率につきましては、国の基準に基づいて積算した場合には100%となりますが、これはカードを2回取得した方が別々にカウントされたものになります。実数に近いのは、実施結果に記

載した保有枚数率で、令和7年度では82%となります。

(山田委員)

一人暮らしで高齢者の皆さんは、通知が届いても分からずに手続きができないということがあります、民生委員としてそのようなところをお手伝いしたいと思っております。何とか皆さんにマイナンバーカードを取得いただきたいと願っております。

(総務部長)

以前、国が実施したマイナポイント事業をきっかけにマイナンバーカードを取得した方は、5年経過して電子証明書の有効期限が切れるため、昨年度から更新手続きの受付件数が増えております。市民課ではそのことを意識して対応しております。

(生涯学習部長)

図書館、パルシー、ハストピア等を生涯学習部で所管しております。お陰様で、パルシーでは大規模改修工事とサブアリーナ増築工事が無事に完了したところでございます。

LED化につきましては、ハストピアは一部未完了ですが、環境学習館等では完了しておりますので、光熱費の削減に貢献できているのではと考えております。

また、クーリングシェルターのお話もございましたが、各施設で適正に温度管理を行い、役割を果たせるよう取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(豊嶋委員)

No. 5「ペーパーレス化の推進」について、所管課は関係各課となっており、令和7年度実施内容や令和8年度に改善する事項は政策調整課と契約財政課の2課で記載がされているところです。ペーパーレス化の推進については「蓮田市DX推進計画」においても掲げられており、2課だけでなく、幅広い課で実施ができないか模索することが必要と考えますが、令和8年度に関しても、引き続き政策調整課と契約財政課の2課でペーパーレス化に取り組むのでしょうか。参考までに4月1日に改正されました「蓮田市DX推進計画」では、施策No. 8「ペーパーレス化の推進」において、新規で介護認定審査会のペーパーレス化の検討等も盛り込まれておりますので、きっと他の課も含めて検討されているのかと思いますが、その点をお伺いしたいと思います。

(総合政策部長)

行政改革実施計画につきましては、現在の実績に基づいて、大きく補

助金検討の関係と入札関係でペーパーレス会議を行ったことを報告させていただいております。先ほどご指摘ございましたように、「蓮田市DX推進計画」の中にペーパーレス化の推進という項目がございまして、いくつかの事業にて令和8年度から導入を検討しているところです。そのことについて報告事項がもし出てくれば、こちらの進行管理表に記載したいと考えております。

(豊嶋委員)

No. 17「組織や附属機関等の見直し」にも関連しますが、引き続き他の担当課や審議会等で、ペーパーレス化を進めるようなことについても、見直しの中に含まれるものだと思いますので、ぜひ引き続き検討いただければと思います。

(佐藤委員)

行政改革の実施項目からは外れてしまいましたが、使われていない農地を活用し、シルバー人材の派遣やボランティアに協力いただいて特産品を開発することはできないでしょうか。近隣の自治体では、ぶどうや苺等をつくっています。それをサービスエリア脇で販売すると活気があってよくなると思います。

(環境経済部長)

農家の方の高齢化に伴い、遊休農地は増えております。市としてはそのような農家の方に代わって、法人等、誰がその農地を使うかの計画を策定し、取り組んでいるところです。

また、現在、農商工連携協議会と株式会社ネクスコ東日本エリアトラクト間で契約を結び、蓮田サービスエリア内にて、市内で採れた野菜等を販売しております。こちらにつきまして、市として支援してまいりたいと考えております。

(中野委員長)

聞いた話になりますが、最近は夏休みの読書感想文について、生成AIを使用して作成するそうです。県統一のカリキュラムだと思いますが、どのような狙いがあるのでしょうか。

また、市役所でもすでに生成AIを導入し、業務に取り組まれているかと思いますが、生成AIを活用していくにあたり、市民ニーズをどう捉えて、職員のスキルアップをどのように行っていくのかについてお考えをお伺いしたいです。

(学校教育部長)

学校の現場についてですが、生成AIは積極的に活用していけば、学習

	の可能性を広げていくものかと思います。その一方で使い方によっては、情報の正確性や著作権、個人情報等、様々な影響などもありますので、そこは生成AIを使いつつ、しっかりと発達段階を踏まえながら、学校では適切に指導をしていく形で今進めているところでございます。今後も国や県の方針や動向等を注視しながら、その適切な活用を市としても進めていきたいと思っております。 (中野委員長) そうしますと、生成AIを使って読書感想文を作成するということは、蓮田市の教育現場では指導していないということでしょうか。 (学校教育部長) ご認識のとおりです。 (総務部長) 市役所におきましても生成AIを導入済みで、主に作成した文書の校正等に利用されております。それらに要していた時間を削減することができ、業務の効率化が図れていると存じます。しかしながら、職員のスキルアップに生成AIを使うまでは行っておりません。 (中野委員長) これで、本日の議事を終了いたします。会議の進行にご協力をいただきまして、ありがとうございました。議事進行を事務局にお返しします。
4 その他	(政策調整課副主幹) 中野委員長、ありがとうございました。続きまして、次第の4「その他」に移ります。 事務局からご連絡がございます。政策調整課長より申し上げます。 《事務局より連絡事項》
5 閉会	(政策調整課副主幹) 続きまして、次第の5 閉会でございます。 木村副委員長から閉会のごあいさつを頂きたいと存じます。 木村副委員長より申し上げます。 《木村副委員長より閉会のあいさつ》 (政策調整課副主幹) ありがとうございました。

	以上で令和８年度 第１回蓮田市行政改革推進委員会を全て終了いたします。ありがとうございました。
--	---